

PaperStream IP (TWAIN) for SP Series
PaperStream IP (TWAIN x64) for SP Series

過去のアップデートにおける主な変更点

V3 Service Update 4

3.42.1

以下の不具合を修正しました。

1. 下記 OS 環境にて PaperStream IP 3.42.0 を使用した場合に、ドライバーが起動できない問題を修正しました。
 - Windows Server 2016
 - Windows 10 Enterprise 2016 LTSC

3.42.0

以下の機能を追加しました。

1. 以下の OS をサポートしました。
 - Windows Server® 2025 Standard

以下の不具合を修正しました。

1. 傾き補正で背景「黒」と傾き補正方法「原稿の中身の傾きを補正」を設定した場合に、本来背景色「黒」で塗られるはずの箇所が周辺色で塗られてしまう問題を修正しました。
2. ドライバーからの出力画像フォーマットに Tiff(G4)または Tiff(G32)を指定した場合に、出力画像の右下に微小な黒残りが発生する問題を修正しました。

V3 Service Update 3

3.32.0

以下の機能を追加しました。

1. Microsoft のサポート終了に伴い、以下の OS をサポート対象から除外しました。
 - Windows Server® 2012 Standard, Windows Server® 2012 R2 Standard

2. プロファイル退避復元ツールにおいて、プロファイルの選択的移出および追加移入機能に対応しました。

以下の不具合を修正しました。

1. その他軽微な不具合を修正しました。

V3 Service Update 2

3.22.0

以下の機能を追加しました。

1. SP30F をサポート機種から除外しました。
2. 以下の OS をサポート対象から除外しました。
Windows® 7 Professional, Windows® 7 Enterprise, Windows® 8.1, Windows® 8.1 Pro, Windows® 8.1 Enterprise, Windows Server® 2008 Standard R2
3. バーコード検出機能にて、次の 2D バーコードの検出に対応しました。
 - PDF417
 - QR Code
 - Data Matrix

V3 Service Update 1

3.2.1

以下の機能を追加しました。

1. 原稿の向きを判定できる領域を登録することで、登録された情報を元に画像の向きを自動的に補正する機能を追加しました。
「ページ」の「回転」で「自動」を設定しても向きが補正されない画像を、正しい向きに補正することができます。
本機能を有効にするには、「カスタム設定を優先する」を指定します。
2. フラットベッドでの読み取りにおいて、パスポートを自動検出する機能を追加しました。
本機能は PaperStream Capture で使用できます。

以下の機能を改善しました。

1. スキャナードライバー画面を一新しました。
 - 簡易ダイアログの設定項目を追加
 - 設定項目の一覧性を向上

V2 Service Update 1

2.12.0

以下の機能を追加しました。

1. Windows Server® 2008 Standard をサポート OS から除外しました。
2. 「自動プロファイル選択」機能を追加しました。
3. 独自の画像処理技術を使うことにより、OCR 処理に適した二値白黒画像を出力できます。
4. Software Operation Panel
 - Energy Star® 3.0 に対応するため、省電力設定の上限を 235 分から 115 分に変更しました。

Service Update 8

1.62.0

以下の機能を追加しました。

1. 「カラー調整」機能を追加しました。(SP-1425 のみ)

以下の不具合を修正しました。

1. パターン化された地紋がある名刺サイズの下稿を読み取る場合、画像の向きを補正する精度を向上させました。(SP-1425 のみ)
「ページ」の「回転」で「自動」を指定した場合に有効です。

Service Update 7

1.52.0.6549

以下の不具合を修正しました。

1. 軽微な不具合を修正しました。

1.46.0.5900

以下の機能を追加、または改善しました。

1. SP-1425 に対応しました。
2. 「傾き補正」機能の補正方法を「標準ダイアログ」からも設定できるようにしました。
「標準ダイアログ」で設定した内容はプロファイルに保存できます。読み取る原稿に応じて、傾き補正の方法を切り替えることができます。
3. 「ブランクページ検出」機能に、白紙ページの判定対象を指定する項目を追加しました。
「マージン」で、白紙ページの判定をしない領域(画像の縁の幅)を指定することができます。
4. Windows® の起動時にスキャナのエラー通知機能 (Error Recovery Guide) を自動的に起動するかどうかを、インストール時に選択できるようにしました。
5. 「継続読み取り」に自動給紙機能を追加しました。
ADF 読み取りの場合、原稿をスキャナにセットするだけで、読み取りを開始できます。
6. 「カラー/モノクロ自動判別」機能に「モノクロの判別対象」を追加しました。
「二色原稿」を設定することで、単色カラー用紙にモノクロ印刷された原稿も、モノクロとして判別できます。
7. 「地紋除去」機能に新しい除去モードを追加し、スライダーで設定できるように変更しました。
最大値「3」を設定することで、今まで消えにくかった地紋を除去できます。
ただし、画像の右下に "Copy" スタンプが付加されます。
8. 原稿に複数のバーコードが存在する場合のバーコード検出精度を改善しました。
9. 「コードシート切替え」機能を追加しました。
読み取り中に、原稿に応じて出力する画像の種類を切り替えられます。
10. 「表裏合成」機能を追加しました。
原稿の表面と裏面の画像を合成して出力できます。
11. 「統計情報」機能を追加しました。
読み取りで使用したスキャナや出力した画像の数などの情報を収集する機能です。
収集した情報をファイル保存し、読み取り作業の統計をとるための情報として利用できます。
また、読み取りが終了したあとに、収集した情報を表示して、読み取り結果を確認できます。
12. Software Operation Panel に、スキャナの選択画面を追加しました。
スキャナを複数台接続している場合、Software Operation Panel の起動時に、設定対象のスキャナを選択できます。

以下の不具合を修正しました。

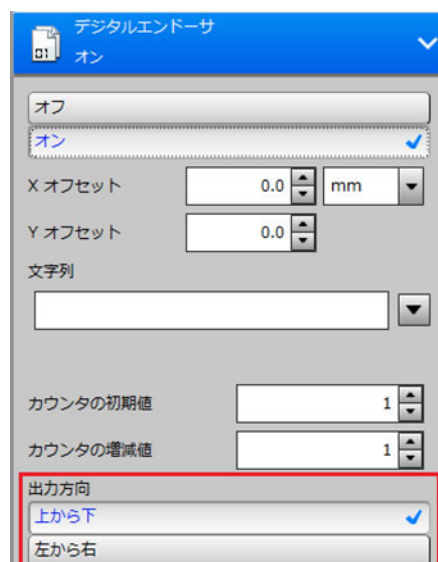
1. Windows® 標準関数の AfxGetApp() 関数呼び出し時に、アプリケーションが異常終了する場合がある不具合を修正しました。
2. 「表面・裏面を別々に設定する」が設定されている場合、「カラー/モノクロ自動判別」の判別する画像の種類と「モノクロの判別対象」の設定が、表面と裏面で異なると、ドライバー画面を閉じたときに、表面の設定が裏面の設定と同じになってしまう不具合を修正しました。
3. コンピュータにログオンしているユーザーの名前に半角英数字以外の文字が含まれていると、PaperStream IP が正常に動作しない場合がある問題を修正しました。
4. 特定のアプリケーションにおいて、スキャナの選択ができない場合がある不具合を修正しました。
5. その他軽微な不具合を修正しました。

Service Update 4

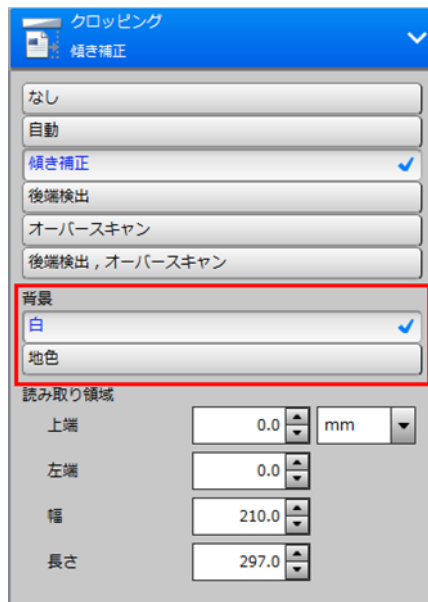
1.13.21506.12001

以下の機能を追加、または改善しました。

1. e-文書法に適合する電子文書を作成するのに適したプリセットプロファイルを追加しました。
2. 「画像」の「トーン調整」に「e-文書モード」を追加しました。
3. 「デジタルエンドーサ」機能の「出力方向」に「左から右」を追加しました。文字列を横方向に印字できます。

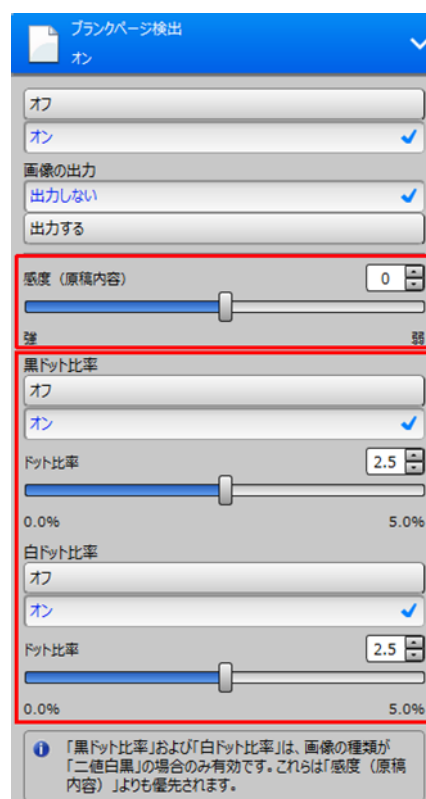


4. 「クロッピング」機能の「傾き補正」に「背景」の指定を追加しました。原稿の用紙色（地色）を指定できます。



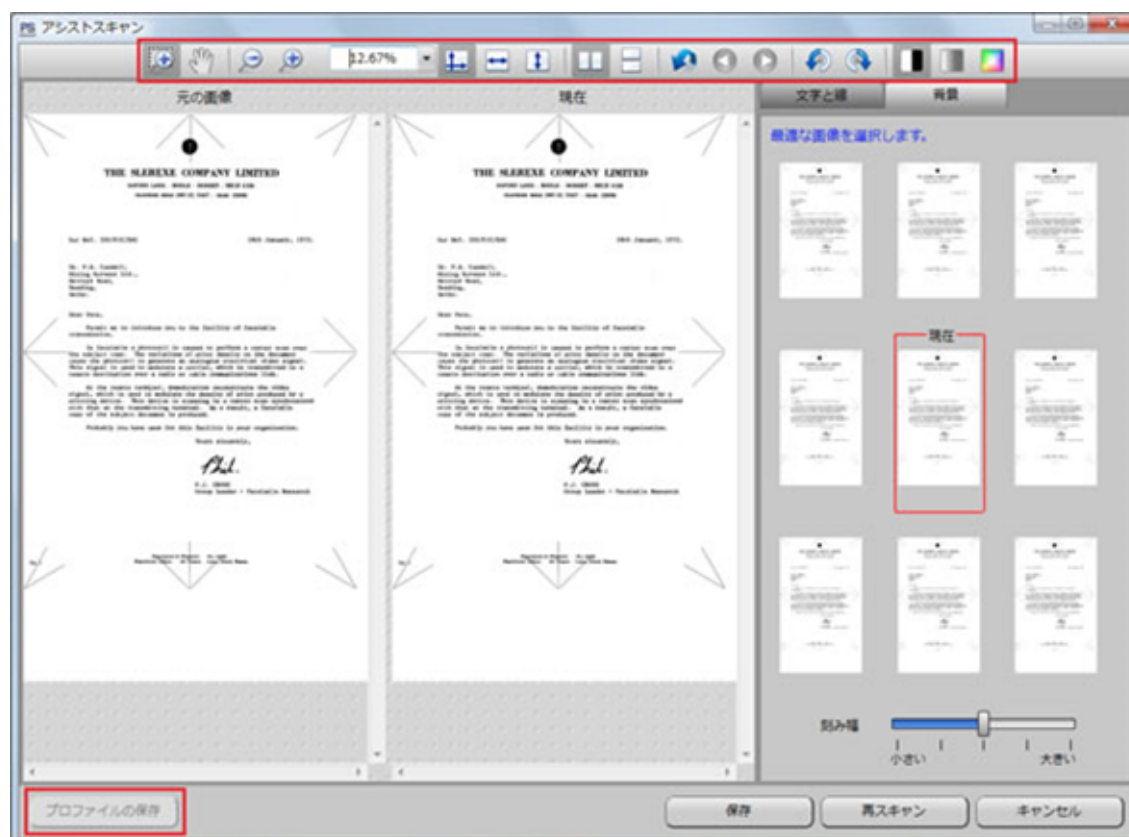
5. 「blankページ検出」機能の画面を改善しました。

- 感度の設定をわかりやすくしました。
- 白黒ドット比率の設定を「黒ドット比率」と「白ドット比率」に分けました。



6. 「アシストスキャン」画面を改善しました。

- 「カラー/モノクロ自動判別」の切り替えボタンは、選択できるボタンのみを表示するようにしました。
- 「プロファイルの保存」をボタンに変更しました。



以下の不具合を修正しました。

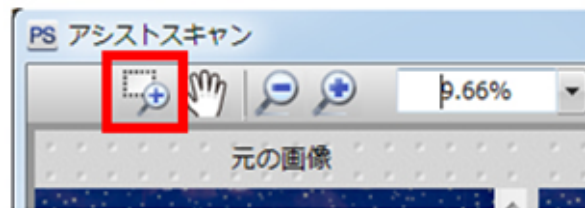
1. 「読み取り領域」を指定して、長尺帳票を読み取ったときに、メモリ不足が発生する場合がある不具合を修正しました。
2. 裏面読み取りを設定したときに、画像が 180 度回転されて出力される場合がある不具合を修正しました。
3. 特定のアプリケーションにおいて、スキャナの選択ができない不具合を修正しました。
4. API の「TAG_ENDORSER_INCSTART」において、「デジタルエンドーサ」のカウンタに誤った値が設定される場合がある不具合を修正しました。
5. ADF 読み取りにおいて、Error Recovery Guide から「読み取り領域指定異常」が通知されない不具合を修正しました。

Service Update 3

1.8.21408.28001

以下の機能を追加、または改善しました。

1. アシストスキャンにマーカーズーム機能を追加しました。
 - 。 「元の画像」または「現在」の画像上で、マウスで選択した範囲を拡大表示できます。



2. アシストスキャンに回転方向の変更機能を追加しました。
 - 。 ボタンをクリックするたびに矢印方向に 90 度ずつ画像を回転できます。



3. アシストスキャンにカラー/モノクロ自動判別結果の変更機能を追加しました。
 - 。 クリックしたボタンに応じて画像の種類が変化します。「カラー/モノクロ自動判別」の設定で指定した画像の種類以外は選択できません。



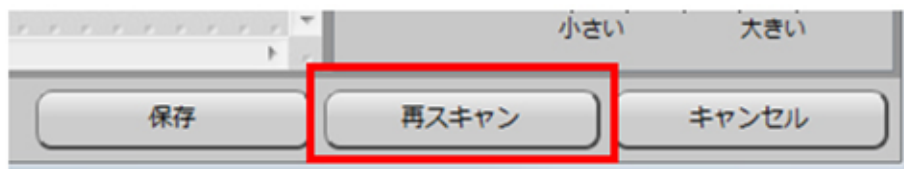
4. アシストスキャンに白紙ページ通知機能を追加しました。

- 「ブランクページ検出」機能で白紙ページと判定された画像の上に「白紙」ラベルを表示します。「白紙」ラベルが表示されている画像上にマウスを移動すると、「白紙」ラベルが消えて画像を確認できます。



5. アシストスキャンに再スキャン機能を追加しました。

- 現在表示している画像を破棄し、原稿の再読み取りができます。



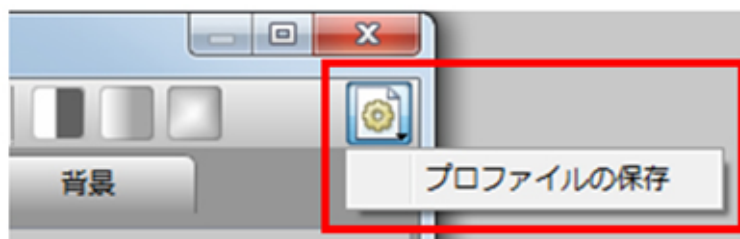
6. アシストスキャン画面のウィンドウサイズ変更機能を追加しました。

- マウス操作によりウィンドウサイズ変更できます。

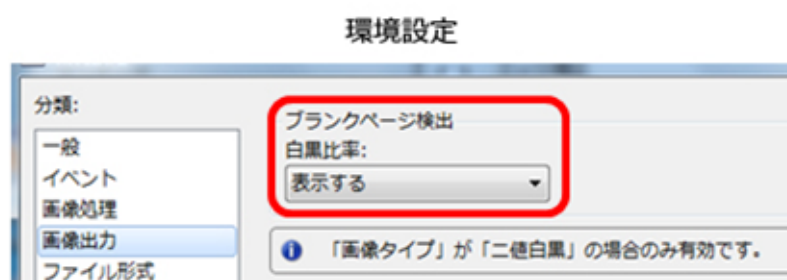
7. アシストスキャンの「元の画像に戻す」、「戻る」、「進む」ボタンをアイコン化しました。



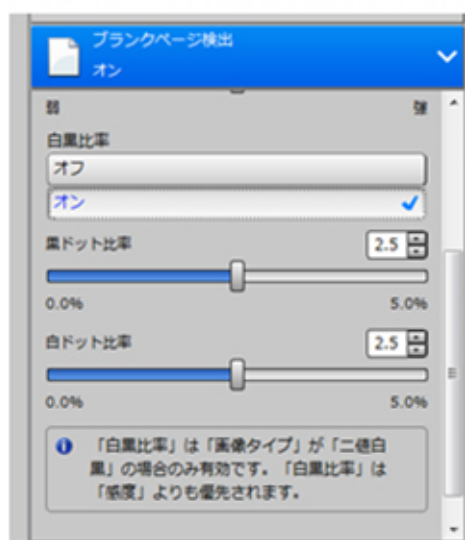
8. アシストスキャンの「プロファイルの保存」ボタンを「オプション」ボタン（新規追加）の中に移動しました。



9. ブランクページ検出方法に「白黒比率」を追加しました。
- 画像の種類が「二値白黒」の場合、画像の背景色に応じて、白ドットまたは黒ドットの比率で白紙ページかどうかを判定します。本機能を利用するには、環境設定から本設定項目を表示させる必要があります。



ブランクページ検出設定（白黒比率）



10. スタートメニューに「製品サポートページ」へのリンクメニューを追加しました。

以下の不具合を修正しました。

1. マルチディスプレイ環境でドライバー画面を閉じたあとに、ディスプレイを減らす、もしくはディスプレイの配置を変更すると、ドライバー画面を再表示する際にユーザーが操作できない位置に表示される場合がある不具合を修正しました。
2. 「ブランクページ検出」と「マルチフィード検出」を設定して読み取ると、画像認識チェック機能 (AIQC) が正常に通知されない場合がある不具合を修正しました。
3. 読み取りプロファイル退避ツールでプロファイルを保存する場合に、既存のファイルへの上書き保存をキャンセルすると、既存のファイルが削除される不具合を修正しました。
4. 「用紙長判別」をサポートしていないスキャナで、「用紙長判別」が設定されている読み取りプロファイルを選択して読み取ると、アプリケーションが応答しなくなる場合がある不具合を修正しました。
5. 読み取り中にスキャナの停止ボタンを押下すると「文字列が見つかりません」のエラーがアプリケーションから通知される不具合を修正しました。
6. 特定のアプリケーションでカラー/モノクロ自動判定が正しく行われなかった不具合を修正しました。
7. アプリケーションから読み取りを一時停止したときに、読み取りが停止するまでに読み込んだ画像が破棄されてしまう不具合を修正しました。

Service Update 2

1.7.21403.20001

以下の機能を追加、または改善しました。

1. ドライバー画面を変更しました。
 - 標準/簡易ダイアログの切り替えアイコンのデザインを変更しました。
 - 「プレビュー」画面に表示されるメッセージを改善しました。
2. 「ブランクページスキップ」機能を「ブランクページ検出」機能に変更しました。
 - ブランクページを出力するかしないかを指定できるようにしました。
 - ブランクページを出力する場合に、アプリケーションにブランクページの検出結果を通知する機能を追加しました。(API 対応)
 - 両面読み取り時は、原稿の反対面の裏写りを考慮してブランクページを検出できるようになりました。

3. 「読み取り領域」指定機能を変更しました。
 - 「クロップ」に「自動」を指定した場合に、「読み取り領域」を指定できるようにしました。
 - 「マルチイメージ」/「カラー/モノクロ自動判別」/「用紙長判別」/「表面と裏面を別々に設定する」を指定して、複数の画像の読み取り条件を別々に設定する場合に、「読み取り領域」も別々に指定できるようにしました。
 - 「環境設定」で「読み取り領域」の範囲を切り出すタイミングを指定できるようにしました。
「回転」の設定に従って「画像を回転する前に切り出す」か「画像を回転した後に切り出す」かを選択できます。
4. 「バーコード検出」機能を変更しました。
 - 「ページごとのバーコード最大数」に 20 個まで指定できるようにしました。
5. 「スタート」メニューに「製品サポートページ」メニューを追加しました。

以下の不具合を修正しました。

1. 原稿づまりで停止した後、用紙を再セットして読み取り再開すると「読み取り中」と表示したまま応答しなくなることがある不具合を修正しました。
2. 「画像タイプ」に「カラー」または「グレー」指定したときに、異常な画像が出力されることがある不具合を修正しました。
3. ドライバー画面の読み取り条件が保存されないことがある不具合を修正しました。
4. 「ジョブ制御」を指定したときに、パッチコードのページがスキップされないことがある不具合を修正しました。
5. 「クロッピング」に「自動」、「回転」に「90 度 (時計回り)」または「90 度 (反時計回り)」を指定したときに、画像の端が切れて出力されることがある不具合を修正しました。
6. 「ハーフトーンパターン」に「ダウンロード」を指定したときに、原稿の裏面が白紙画像になる不具合を修正しました。
7. 「マルチイメージ」または「カラー/モノクロ自動判別」を指定したときに、「トーン調整」の「ダウンロード」が正しく設定できない不具合を修正しました。